

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.12.05~12.16

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

12月5日(月) □

■中国専用の外壁材投入
ノザワ / 東北部の寒冷地向け
ノザワは、2014年までにビル向け外壁材で中国専用製品を投入する。東北部の寒冷地向けに押し出し成形セメント板と断熱材を一体化した外壁材を製品化。積水ハウスとの合併会社が担当。(19面)

12月6日(火) □

■中国の知財権保護に協力
中小の進出後押し / 経産省
経済産業省は、中国への知財権保護支援を加速させる。特許出願を2010年の39万件から15年に75万件に引き上げる計画。*巨大市場の知財権保護に協力、日本企業の中国展開を後押しする。(2面)

■診断薬中間体、中国で生産
J S R / 現地社と合併
J S Rは、中国診断薬メーカーの北京万泰生物薬業と合併で、診断薬中間体の製造・販売会社を設立する。病気因子の有無で、がんマーカーや心疾患などを高感度に診断する。(11面)

12月7日(水) □

■旭有機材、日中で増強
鋳造用フェノール樹脂
旭有機材工業は、日本と中国で鋳造用フェノール樹脂の生産体制を強化する。日本では約15億円を投じて愛知工場を改装、中国では約3億円を投じて年産能力を倍増させる。(11面)

■中国で低温物流を加速
三井物産 / 安全・新鮮を提供
三井物産が、中国でのコールドチェーン(低温物流)事業を推進。配送までを



一体化。上海でモデルを作り、「安全・新鮮」の商品を消費者に届けるビジネスを普及させる。(15面)

12月8日(木) □

■経理文書、中国語に翻訳
アピタス / 国際基準に対応
アピタスは、企業の経理文書を英語と中国語に翻訳するサービスを始める。企業がI F R S (国際会計基準) 導入の準備を進める中、経理文書を翻訳、海外子会社・拠点と共有できる。(3面)

■都市ゴミ・汚泥を燃料化
川重 / セメント工場活用
川崎重工業は、中国で都市ゴミと下水汚泥をセメント工場で焼却処理して燃料化する事業に乗り出した。現地セメント会社と共同開発したパッケージ型プラントを提案する。(7面)

12月9日(金) □

■東洋ゴム、低燃費タイヤ量産
現地ラベリング制度に対応
東洋ゴム工業は、2013年にも、新開発

の低燃費タイヤ「ナノエナジー」の量産を中国で始め、販売を本格化する。同国で導入が検討されている低燃費タイヤのラベリング制度に対応。(5面)

■工場機器の規格準拠ソフト拡販
N S D / 中国でインフラ建設拡大
N S Dは、製造現場の機器類接続や設定の規格に準拠したソフトウェアを拡販する。インフラ需要が拡大している中国で工場や発電所、浄水場を建設する日本企業に導入を働きかける。(9面)

■中国専用「T S U B A K I」
資生堂 / 現地で生産
資生堂は、「T S U B A K I」のアジ



「T S U B A K I」のCM発表会(中央が末川社長)

アの販売を強化する。まず中国での専用商品を、現地で生産し12月から発売。約330~840円と求めやすい価格にして中間所得者層に照準。(15面)

12月13日(火) □

■東海ゴム、中国に2工場建設
現地メーカー向け専用拠点
東海ゴム工業は、2013年までに、中国に自動車用ホースと内装品の2工場を建設する。いずれも現地資本の自動車メーカー向けに供給する専用拠点。現地の自動車部品との合併。(5面)

■ダイフク、中国で開発機能強化
搬送システム / 現地技術者2倍
ダイフクは、2013年までに中国の現地技術スタッフの人員を現在に比べて2倍の約150人体制にする。中国市場向けシステムの開発機能を強化する。配送センター向け需要増が見込まれる。(7面)

12月14日(水) □

■スマホの日本語変換技術を買収
バイドゥ / 個人から
中国・百度の日本法人・バイドゥは、スマートフォンで文字を入力する際に、同音異義語を正確に変換できる日本語変換システムを買収した。個人のエンジニア・足立昌彦氏から取得。(3面)

■日産、中国に積極投資
2015年 / 年産能力140万台に増強
日産自動車は、中国事業の拡大を急いでいる。2012年1月には広東省広州市に乗用車の新工場が完工。中国全土の年産能力は58万台から2015年までに140万台に増強する。(5面)

12月15日(木) □

■中国66%増、1000億円に
三菱電機 / 2015年度F Aシステム
三菱電機は、F Aシステム事業の売上高を2015年度に11年度比25%増の6000億

円に引き上げる。新興国の需要増を見込む。中国は15年度に66.7%増の1000億円に引き上げる。(10面)

12月16日(金) □

■東洋ゴム、高性能タイヤで勝負
中国工場が稼働
東洋ゴム工業が中国で同社初の独資でのタイヤ工場を稼働した。市場での知名度は低く、生産拠点の設置で出遅れ感が否めない中、高性能で付加価値の高いタイヤを武器に勝負を挑む。(7面)

■アマダ、中国でブランド浸透
統括会社の社名にこだわり
アマダは、上海市に中国事業の統括会社「天田(中国)」を設立。2012年1月に業務開始。岡本満夫社長は「地域の会社ではなく『中国の会社』であることを、社名で知らしめたかった」。(8面)

TELOP

■マブチモーター、重慶に販売拠点
日・欧米・台湾系向け(5日11面)

■ドラム缶、中国で増産
J F Eコンテナ(6日11面)

■古河スカイがアルミ加工会社
鉄道車両熱交換器用 / 江蘇省(6日11面)

■ガラス長繊維熱可塑性樹脂を生産
J N C / 年7000㌦(6日11面)

■中国最大の医療機器販社と協業
日揮ファーマ(7日7面)

■リチウム電池負極材を倍増
三菱化学 / 年産8000㌦(7日11面)

■粘着加工製品で江蘇省に現法
綜研化学(7日11面)

■上海でM Cの保守部品販売
三井精機工業(8日7面)

■日本空調サービス、上海に販社
日系の製造ライン向け機器(9日13面)

■アムコン、中国・チェコに拠点
汚泥処理装置を製販(9日21面)

■自動車産業情報サイトの中国語版
マークラインズ / 会員制(13日5面)

■中国4都市に販売拠点
日本トムソン(13日7面)

■紙オムツ用材料の複合繊維を生産
J N C、米社と共同(13日11面)

■仏ダノン、乳製品工場を停止
上海当局の支援なく(時事=14日3面)

■上海の研修施設、来月稼働
東洋ゴム / 現地販売店向け(14日5面)

■日産、中国でE V生産
来年にも開始(14日5面)

■香港にアジア統括支社
上組(14日17面)

■中国・海通証券、香港上場を延期
発行価格調整つかず(時事=14日21面)

■洋菓子の品質改良剤を製造
三菱化学フーズ(15日15面)

■日本ガーター、中国2倍
L E D分類機など(16日9面)

■東芝キャリア、中国に新工場
業務用空調機(16日11面)

■I T大手・北大方正集団と提携
日立 / クラウド・環境都市(16日13面)

■神鋼、アルミ鍛造部品の一貫生産
蘇州 / 車サス用(16日15面)

■リチウム電池正極材を増産
旭硝子 / 来春(16日15面)

■コイルセンター、中国に2拠点
阪和興業(16日15面)

■中国で金属表面処理剤
貴和化学薬品(16日25面)

●ひと
60歳以上は3倍に
中国での福祉用具は「弱者救済の段階を経て、広い層に行き渡らせたい段階」と北京大学知能リハビリテーション工学研究センター教授の羅椅民さん。「中国総人口の60歳以上の割合は40年後には約3倍になり、それだけ福祉用具を使う人も増える」と述べた。(13日=23面)

●ひと
世界企業に成長させる
韓国テクノパーク協議会会長の洪宗喜さんは「韓国は企業も国民も海外に目を向けている」。また「テクノパークは、優れた技術を持つ国内外の企業を誘致し、*ウィン・ウィン」の協力関係を築いて国際競争力を持った企業に成長させる」のが最終目標。(5日=22面)

●ひと
欧州危機、繊維に飛び火
「欧州危機は投機資金が資源に流れ、原料価格が乱高下する悪影響もある」と日本繊維産業連盟会長の下村彬一さん。

●ひと
「欧米の危機が瞬時にアジアの経済、そして日中韓の繊維産業にも影響を及ぼすことを意識して事業を運営しなければならない」と指摘する。(7日=11面)

●ひと
キーボードは消える
「近い将来、パソコンからキーボードがなくなる」と台湾エイサー社長のジム・ウォンさん。「パソコンメーカーは、クラウド環境の提供などハードからソフトを含めた提案型事業へと変化していくだろう。当社製スマートフォンの存在意義も高まる」。(14日=11面)

●ひと
1兆ドル達成
「韓国は今年、初めて年間の貿易額が1兆ドル(約78兆円)を達成した」と横浜の韓国総領事館で地元経済界に元気づけをアピールするのは、韓国政府機関の大韓貿易投資振興公社日本地域本部長の申煥燮さん。「世界が韓国への投資を増やしている」と力こぶ。(14日=28面)

●ひと
タイ「撤退せず」7割
日系、供給拠点を維持 / ジェトロ
日本貿易振興機構が、洪水被害の日系55社を調査。同じ場所でも事業を再開すると答えた企業が7割で、タイ国外へ拠点を移すはなかった。アジアへの供給拠点としての重要さは変わらない。(1面)

●ひと
ホンダ、2輪車の減産20万台
引き合いは好調
ホンダの2輪車の減産は、最終的に約20万台にのぼった。バンコクの工場を10月11日に止め、11月14日に再開。引き合いは好調なままで、販売への長期的な影響は避けられそうだ。(5面)

●ひと
日本電産、工場再開
H D D用モーター主力拠点(5日11面)

●ひと
業務用機器、横須賀に一時移管
J V Cケンウッド(5日11面)

●ひと
日野自、今期業績を下方修正
洪水でトヨタ向け減産(6日5面)

●ひと
千葉銀行、洪水被害の相談窓口
復興支援 / 保証状(7日28面)

●ひと
帝人、3工場の排水完了
日本の技術者、応援を要員(8日10面)

●ひと
東レ、アユタヤ工場は来春再開
品種代替で対応(13日11面)

●ひと
リードフレーム、2カ所で代替生産
三井ハitek(15日12面)

●ひと
タイ旅行ツアー再開
観光地の水引く(15日23面)

●ひと
タイ「撤退せず」7割
日系、供給拠点を維持 / ジェトロ
日本貿易振興機構が、洪水被害の日系55社を調査。同じ場所でも事業を再開すると答えた企業が7割で、タイ国外へ拠点を移すはなかった。アジアへの供給拠点としての重要さは変わらない。(1面)

●ひと
ホンダ、2輪車の減産20万台
引き合いは好調
ホンダの2輪車の減産は、最終的に約20万台にのぼった。バンコクの工場を10月11日に止め、11月14日に再開。引き合いは好調なままで、販売への長期的な影響は避けられそうだ。(5面)

●ひと
日本電産、工場再開
H D D用モーター主力拠点(5日11面)

●ひと
業務用機器、横須賀に一時移管
J V Cケンウッド(5日11面)

●ひと
日野自、今期業績を下方修正
洪水でトヨタ向け減産(6日5面)

●ひと
千葉銀行、洪水被害の相談窓口
復興支援 / 保証状(7日28面)

●ひと
帝人、3工場の排水完了
日本の技術者、応援を要員(8日10面)

●ひと
東レ、アユタヤ工場は来春再開
品種代替で対応(13日11面)

●ひと
リードフレーム、2カ所で代替生産
三井ハitek(15日12面)

●ひと
タイ旅行ツアー再開
観光地の水引く(15日23面)

●ひと
タイ「撤退せず」7割
日系、供給拠点を維持 / ジェトロ
日本貿易振興機構が、洪水被害の日系55社を調査。同じ場所でも事業を再開すると答えた企業が7割で、タイ国外へ拠点を移すはなかった。アジアへの供給拠点としての重要さは変わらない。(1面)

●ひと
ホンダ、2輪車の減産20万台
引き合いは好調
ホンダの2輪車の減産は、最終的に約20万台にのぼった。バンコクの工場を10月11日に止め、11月14日に再開。引き合いは好調なままで、販売への長期的な影響は避けられそうだ。(5面)

●ひと
日本電産、工場再開
H D D用モーター主力拠点(5日11面)

●ひと
業務用機器、横須賀に一時移管
J V Cケンウッド(5日11面)

●ひと
日野自、今期業績を下方修正
洪水でトヨタ向け減産(6日5面)

●ひと
千葉銀行、洪水被害の相談窓口
復興支援 / 保証状(7日28面)

●ひと
帝人、3工場の排水完了
日本の技術者、応援を要員(8日10面)

●ひと
東レ、アユタヤ工場は来春再開
品種代替で対応(13日11面)

●ひと
リードフレーム、2カ所で代替生産
三井ハitek(15日12面)

●ひと
タイ旅行ツアー再開
観光地の水引く(15日23面)

ASIA

12月5日(月) □

■豊田合成、インド一貫生産
ボディーシーリング部材
豊田合成は、インド・ラジャスタン州にある製造子会社で2012年5月をめどに、ボディーシーリング部材の一貫生産を始める。8億円投資。ゴムの材料配合や押出成形を開始する。(8面)

■杉浦製作所、インドネシア工場
ナット・ボルト / トヨタなど向け
杉浦製作所は、2013年半ばの稼働をめどに、インドネシア・カラウン県にナット・ボルトの工場を建設する。約10億円投資。供給先のトヨタ自動車やダイハツ工業が現地で新工場を建設。(8面)

12月6日(火) □

■大手3行、インド開拓
増員・支店開設 / 体制拡充
大手銀行3行がインド市場の開拓を本格化。三菱東京UF J銀行は1.5倍の400人に。みずほコーポレート銀行は3支店を新設、5拠点体制。三井住友銀行はニューヨーク・事務所を4月開設。(3面)

■住友電工、インドネシアに工場
タイは超硬工具の生産能力20%増強
住友電気工業は、超硬工具事業で2012年6月にインドネシアに生産・販売拠点を新設。5億円投資、超硬ドリルを生産する。タイはドリルや切削チップなど超硬工具の生産能力を20%増強。(7面)

■住友化学、韓国L Gから買収
農業用殺菌剤
住友化学は、韓国L Gライフサイエンスから農業用殺菌剤「エタボキサム」事業を買収する。重点事業に掲げる農業種子処理事業の拡大につなげる。本原体の製造はL Gに委託。(11面)

12月7日(水) □

■アジアを輸出基地に
安川電機 / 海外投資を倍増
安川電機は、2012年度から3年間、海

工場自動化・産業用ロボ各社 アジア拡充策	
ファナック	日米欧の3極から中国・上海の現地法人を支援。人員を増強し、事業拡大を図る
安川電機	今秋、上海にロボットシステム構築の拠点を新設。ロボット生産も検討
三菱電機	中国でインバーターや放電加工機の生産能力を30%以上増強。サーボモーター新工場を建設し12年末までに稼働
東芝機械	中国で産業用の水平多関節ロボットの生産を検討
A B B (スイス)	上海で産業用ロボットの生産を拡大

外の拠点新設や生産増強に約2倍の180億円を投じる。中国などアジアの拠点を周辺国・地域への輸出基地に。円高で日本からの輸出は維持できない。(1面)

■*巨象」の躍動取り込み
アジアに挑むメガバンク
躍動する*巨象」に、メガバンク3行が立ち向かっている。毎年約100社が進出。産業集積やインフラ整備が加速。支店網や提携先を広げ日系企業のニーズに応え、現地の財閥にも食い込む。(23面)

12月8日(木) □

■山下ゴム、印・タイに新工場
日系自動車メーカーに供給
山下ゴムは、2013年をめどにインド、タイで自動車部品の生産拠点を相次ぎ拡充する。インドには防振ゴム製品の工場を新設。タイには車用ホース・チューブ製品の第2工場。日系に供給。(1面)

■積水化学、アジアに新設
発泡樹脂製品 / 華南・印など候補
積水化学工業は、アジアで自動車内装材などに使われる発泡樹脂製品の生産拠点を新設する。自動車や携帯電話など急速な需要増加に対応する。中国・華南やインド、中東などが候補。(10面)

12月9日(金) □

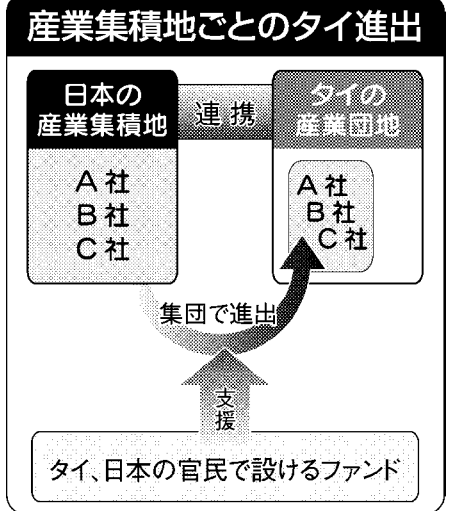
■印の大学生、博士号取得を支援
J I C A / 東大など9大学
J I C Aは、日本とインドの産学官連携の枠組みを構築する。2012年度から、インド工科大学の学部卒業生と修士修了生5~15人を東京大学など9大学に留学させ、博士号取得を支援する。(3面)

■イーグル、インドネシア新工場
フローティングシール / 3極体制
イーグル工業は、インドネシアに建設機械の足回りに使うフローティングシールの新工場を建設する。日本、中国、インドネシアの3極生産体制を築く。2013年1月に操業の予定。(7面)

■東証・韓国取引所が協力を強化
双方のH Pで株価情報を閲覧
東京証券取引所は、韓国取引所と協力関係の協会に向けた覚書を締結した。双方のホームページで両取引所に上場する銘柄の株価情報が閲覧できる。発注や情報インフラ整備を検討。(17面)

12月13日(火) □

■インド社に破砕機の技術供与
アーステクニカ / 生産委託、現地開拓
アーステクニカは、インドの大手重工メーカーのフルチャンドナガル・インダストリーズと、セメント向け破砕機の技術供与と契約を結んだ。生産委託などを通じ、現地需要を開拓する。(6面)



■三井住友銀行、カンボジア進出
邦銀45年ぶり
三井住友銀行は、2012年1月にもカンボジアに進出する。首都プノンペン市に事務所を開設する。邦銀が同国に進出するのは、旧東京銀行が内戦の激化を受けて撤退して以来、45年ぶり。(17面)

12月14日(水) □

■タイと「産業・姉妹クラスター」
供給網補完 / 中小の集団進出促す
タイ政府は、日本の産業集積地とタイの産業団地を結びつけ、姉妹都市のような「姉妹クラスター」を築くよう働きかけ。互いに供給網を補完、日本の中小企業が集団での進出を支援。(1面)

12月15日(木) □

■韓国ゲーム大手、東証上場
900億円調達 / 今年最大規模
韓国系オンラインゲーム大手・ネクソンが、東京証券取引所1部に上場した。約911億円調達。今年の新規株式公開で国内最大規模。崔泰祐社長は「学生時代の夢がかなった」。(3面)

12月16日(金) □

■インドネシア投資、最高更新
日本企業 / 来年の見通し
2012年の日本からインドネシアへの直接投資額は過去10年で最高だった2000年の21億ドル(約1630億円)を超える規模に達する見通し。インドネシア投資調整庁日本事務所が明らかにした。(3面)

■東芝、T V販売アジア重視
世界3000万台 / 新興国で半分
東芝は、2015年度にテレビの全世界販売を2010年度比2.1倍の3000万台以上に引き上げる。インドネシアなど新興国での販売が半分程度を占める見通し。アジアで販売を創出する方針。(11面)

■中韓4大学と単位交換
名大・東北大 / 化学・材料分野
名古屋大学と東北大学は、中国の南京大学、上海交通大学、韓国のソウル大学、浦項工科大学と化学・材料分野の研究教育で連携した。学生を送り合い、単位互換協定を結び。(23面)